



IV-03 品番振替

品番振替の役割

品番振替処理は下記の画面が初期表示されます。

仮品番を本品番へ振替える処理です。

品番振替 画面説明

	仮品番	SEQ	商品名	⇒	本品番	SEQ
1				⇒		
2				⇒		
3				⇒		
4				⇒		
5				⇒		
6				⇒		
7				⇒		
8				⇒		
9				⇒		
10				⇒		
11				⇒		
12				⇒		
13				⇒		
14				⇒		
15				⇒		
16				⇒		
17				⇒		
18				⇒		
19				⇒		
20				⇒		

開始 (U) 中止 (R) 終了 (X)

操作上の注意

①項目移動について

項目移動は Enter キーまたはマウス操作で可能です。



操作方法

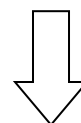
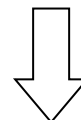
1. 仮品番—SEQ の指定

必要に応じて仮品番の検索を行ないます。

直接入力するか、**スペース**キーを押して、仮No.リストを表示します。

2. 本品番—SEQ の指定

本品番と SEQ を入力します。

3. **開始**ボタン

仮品番から本品番への更新を開始します。

また、仮品番で登録されている受注明細も本品番で振替を行います。

※仮品番から本品番へ振替した際、「品名 2」欄が空白の場合、仮品番は「品名 2」欄へ格納されます。

4. **中止**ボタン

画面内容をクリアします。

5. **終了**ボタン

終了する場合はこのボタンを押して、メンテナンス画面へ戻ります。